

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	職員研修に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	2	
政策	41計画の実現のために	担当課室	総務課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	葛山 順一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	人材育成基本方針に基づき、人材育成を実現していくため、研修計画の見直しとその計画の実施を行う。	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	人材育成基本方針に基づき、人材育成を実現していくため、研修計画の見直しとその計画の実施を行う。
②①に基づく取り組み結果	人材育成基本方針に基づき、研修計画を見直すとともに、平成30年度においては臨時職員の知識の向上を図るため、「鎌ヶ谷市の組織と施設の基本」を新設した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	全職員	意図(対象をどうするのか)	求められる職員像に必要な能力を職員が身につけている
②事務事業の概要	人材育成基本方針に基づき、人材育成のため全職員に対して、それぞれに求められる各種研修を実施し、職員の能力開発を実現する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	各公共団体の独自性が求められる昨今においては、市民のために動ける職員、より高い目標を達成する自律型職員、組織力を活かせる職員が求められる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	①令和元年度研修計画の策定 ②階層別研修・実務研修の実施 ③派遣研修・自主研修の実施						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	職員数(二役、教育長を除く)	701	711	722	人	鎌ヶ谷市職員配置録
	ii	研修受講人数	1,282	1,234	1,419	人	鎌ヶ谷市職員研修概要
	iii	研修受講人数/職員数	183	174	197	%	業務取得
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	3,224	2,982	金額(千円)	内容	3,109		
	国支出金(千円)		680	階層別研修			
	県支出金(千円)		146	実務研修			
	市債その他(千円)		2,152	派遣研修			
	一般財源(千円)	3,224	2,982	0	自主研修	3,109	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	改定した人材育成基本方針に基づいた研修計画の見直しとその計画を実施していく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	人材育成基本方針に基づき職員が必要な能力を身につけるため、研修・能力開発を実施する必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	平成30年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H29からの繰越	
		H29⇒30繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	令和元年度への繰越額(単位:千円)					

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	総合基本計画策定事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	8	○
政策	41計画の実現のために	担当課室	企画財政課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	小笠原 直樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	無し	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	次期基本構想を策定するため、事業者や団体との意見交換及び審議会への諮問、答申を経て、市議会の議決を得る。また、次期基本構想を踏まえ、庁内検討を進め、次期基本計画(案)を策定する。
②①に基づく取り組み結果	無し		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民、事業者、団体	意図(対象をどうするのか)	市と共同でまちづくりを進める
②事務事業の概要	現行の総合基本計画が、令和2年度で終了することを受け、令和3年度から令和14年度までを計画期間とする総合基本計画を新たに策定するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	平成30年度に実施した基礎調査及び市民意識調査の他、審議会や事業者等からの意見を踏まえ、計画を策定する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	「鎌ヶ谷市総合基本計画の策定に関する条例」の制定や、基礎調査報告書を策定した他、審議会を開催し、委員の委嘱及び現状の報告を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	鎌ヶ谷市総合基本計画基礎調査報告書の策定			1	冊	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	0	9,890	金額(千円)	内容	13,764		
国支出金(千円)			9,787	総合基本計画策定支援業務委託			
県支出金(千円)			102	鎌ヶ谷市総合基本計画審議会委員報酬			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)		9,890			13,764		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	人口減少対策や少子高齢化対策など今後解決すべき課題を踏まえ、次期総合基本計画を策定する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	庁内の検討、事業者等との意見交換、審議会への諮問・答申、市議会との連携を踏まえ、次期総合基本計画を策定していく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	基礎調査委託	平成30年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	基礎調査報告書の策定	9,997	9,997	当初	9,997	H29からの繰越	0	
				H29⇒30繰越				
③達成状況	完了			補正		9,890	現年分	9,890
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
令和元年度への繰越額(単位:千円)							20	

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	旧第二学校給食センター他建物解体事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	7	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	契約管財課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	弓削 孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	周辺住民への影響を最小限に抑え、工事を完了させる。	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	解体工事及び排水整備工事完了後の家屋事後調査について、意向調査を行い進める。
②①に基づく取り組み結果	苦情を最小限に抑え、工事を完了することが出来た。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	旧第二学校給食センター他	意図(対象をどうするのか)	既存施設の解体を行う。
②事務事業の概要	旧第二学校給食センター及び旧トレーニングセンターの跡地について、浸水対策として、排水路を整備する為、建物を解体する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市街地で周辺住宅が近接していることから、振動、騒音、粉じんなどの影響を最小限に抑え工事を行う必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	周辺住民へ騒音や振動などを配慮しながら工事を完了させた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	改修割合	0	31	92	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	53,642	109,507	金額(千円)	内容	13,455		
国支出金(千円)			102,221	旧第二学校給食センター他建物解体工事			
県支出金(千円)			6,731	旧第二学校給食センター他建物解体附帯工事			
市債その他(千円)	48,200	98,200			12,100		
一般財源(千円)	5,442	11,307			1,355		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設が近隣住宅に隣接しているため、慎重に工事を行う。また、アスベストの除去作業に時間を要したが、速やかに工事を完了させ、周辺住民の不安を取り除く。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	解体後の事後調査が適正に進捗しているか確認するため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	解体工事を実施する。	平成30年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	解体工事を完了することが出来た。	0	110,645	当初	0	H29からの繰越	110,645
				H29⇒30繰越	110,645		
③達成状況	完了			補正	0	現年分	0
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0		
				令和元年度への繰越額(単位:千円)			0

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	旅券事務に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	3	1	
政策	41計画の実現のために	担当課室	市民課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課長	鈴木 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	無し	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	旅券の申請・交付業務について、職員研修を積極的に行い、事務処理の正確性・迅速性を向上させ、市民がよりスムーズに旅券申請を行えるようにする。
②①に基づく取り組み結果	無し		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民、市内居住者 県内住民登録者	意図(対象をどうするのか)	市役所で旅券申請・受取りが可能となる
②事務事業の概要	県からの旅券事務権限移譲に伴い、鎌ヶ谷市において旅券申請・交付業務を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民にとって身近な市役所において、旅券の申請や受け取りが可能となり、市民サービスの向上を図ることができる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	当初の旅券申請予想数の約2倍、2,424件の申請があった。 (期間:平成30年10月1日～平成31年3月31日)						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	旅券申請件数			2,424	件	申請数累計
	ii	旅券交付件数			2,087	件	交付数累計
	iii						
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	0	29,957	金額(千円)		内容		
国支出金(千円)	0	0	878	金庫等備品購入	0		
県支出金(千円)	0	900	3,283	非常勤職員等賃	0		
市債その他(千円)	0	4,982	24,581	収入印紙購入代	29,171		
一般財源(千円)	0	24,075			6,702		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	証明写真機の設置など、市民にとって旅券の申請がしやすい環境づくりが必要となる。				
②評価	i 市関与の妥当性	2普通	iii 公平性	2普通	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	30年度からの新しいサービスであることから拡充する。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	平成30年度事業費の状況(単位:千円)			
	計画事業費	予算額		決算額
②計画に対する事業実績	0	当初		0
		H29⇒30繰越		
③達成状況		補正		現年分
④未完了・非着手の理由	令和元年度への繰越額(単位:千円)			

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	教育委員会運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	1	1	
政策	41計画の実現のために	担当課室	教育総務課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	崎田 浩史			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	教育委員会の更なる活性化を図るため、学校や教育機関との意見交換の機会の場を設ける。	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	教育委員会の更なる活性化を図るため、引き続き学校や教育機関との意見交換の機会の場を設ける。
②①に基づく取り組み結果	教育委員会定例会を学校(西部小・第五中)や学校給食センターを会場として開催するなど、学校現場との意見交換を積極的に行い、教育委員会の活性化を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	教育委員会委員	意図(対象をどうするのか)	人格が高潔で、教育、学術、文化に関する識見を有する者を任命する
②事務事業の概要	定例会を開催し、鎌ヶ谷市の教育方針や教育行政にかかる議決事項を審議し決定している。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	教育委員会の大幅な教育政策の変換期にあることから、他市の動向を把握しながら、新しい教育委員会体制を確立する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	生涯学習の推進、芸術・文化の振興、文化財の保存、スポーツの振興など様々な教育行政に対し、教育委員会委員による多様な民意を反映した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	定例会の回数	12	12	12	回	実施回数
	ii	臨時会の回数	5	7	10	回	実施回数
	iii	議決された案件	35	40	41	件	議決案件数
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	2,240	2,345	金額(千円)	内容	2,388		
国支出金(千円)			2,208	教育委員会委員報酬			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	2,240	2,345				2,320	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	教育に携わる者の意欲や達成感の向上を図り、鎌ヶ谷市の教育行政を推進することが課題である。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	鎌ヶ谷市の教育行政の発展のため、的確な情報や学校の課題を引き続き把握する必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	平成30年度事業費の状況(単位:千円)			
	計画事業費	予算額		決算額
②計画に対する事業実績	0	当初		0
		H29⇒30繰越		
③達成状況		補正		現年分
④未完了・非着手の理由	令和元年度への繰越額(単位:千円)			

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	議会事務局の運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	1	1	1	
政策	41計画の実現のために	担当課室	議会事務局			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	佐藤 太郎			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	議会運営を円滑に進めるとともに、議会活動等の透明性を確保するため、効果的な事業の展開を図っていく。	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	議員改選及び通年議会導入に伴う一連の事務を円滑に実施する。また、議会活動等の透明性を確保するため、効果的な事業の展開を図っていく。
②①に基づく取り組み結果	議会運営を円滑に進めるために、通年議会に係る条例等の整備を行った。また、政務活動費に係る領収書等のHP公開を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民、市議会議員	意図(対象をどうするのか)	憲法で保障された議決機関である議会の円滑な運営を行う。
②事務事業の概要	憲法で保障された議決機関である議会の円滑な運営を行うため、その事務を所掌する議会事務局の運営に関する経費。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	地方分権の進捗に伴い、議会活動の透明性の確保と内容の周知と併せて、新たな政策提案が求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	適切な事業計画に基づき費用対効果に十分配慮したうえで、遅延することなく事業を実施することができた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	傍聴者数	460	375	337	人	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	24,995	23,913	金額(千円)	内容	30,005		
	国支出金(千円)		4,917	会議録反訳委託			
	県支出金(千円)		1,443	議会中継システム			
	市債その他(千円)		1,224	議会だより折込委			
	一般財源(千円)	24,995	23,913	2,177	映像設備・音響設	30,005	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	地方分権がより一層進む状況の中で、今後とも議会活動等の透明性の確保、内容を広く周知すること及び新たな政策提案を求められている。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	より効率的かつ効果的な議会運営の実現に向け、引き続き改善等の検討を行うため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	平成30年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H29からの繰越
		H29⇒30繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由		流用・充当			
		令和元年度への繰越額(単位:千円)			